

地域懇談会実施報告書

自治会名	下一自治会
開催日	平成20年10月28日(火)
時間	午後19時00分～21時00分
開催場所	下一公民館
参加人数	33人
懇談内容	別添 議事録

● 質問等検討課題・後日回答を要するもの

● 対応

出席者	庶務課行政管理係	丸山 進
	常盤公民館長	勝野 富男
記録者	常盤公民館主事	浅野 幸一

下一地区地域懇談会会議録

平成20年10月28日

19時～

1 開会あいさつ

2 区長あいさつ

3 市長あいさつ

- 市民参加と協働によるまちづくりの推進について
- 第4次総合計画ダイジェスト版の説明
- 松本系魚川連絡道路について

4 懇談開始 【19時30分】

出席者

高規格道路松本系魚川連絡道路は堤防道路を改良して使用するのか。

市長回答

堤防道路の上一交差点から安曇橋まで見てみると、宮本橋・高瀬大橋は現在立体交差になっているが、高瀬橋・安曇橋については立体化されないことから渋滞の原因になっている。この2箇所は立体化されると思う。

また、宮本橋・高瀬大橋は合流する道路があるのに片側1車線で狭い。そのような場所は改良してグレードをあげる工事がなされると思う。そのほかの場所で交差はないものの、堤防道路に接続する農道などはゆずり車線（合流車線）と言われるような物を検討し安全面には配慮される。全ての農道が接続されないであろうが何本かをまとめて側道から本線へ乗れるように考えているようである。

県は現道路を改良しながら60kmで走行でき、安全性も兼ね備えた道路を計画していく考えだとしている。

出席者

下一の運動場・マレットゴルフ場が高瀬川の河川敷にあるが、現在でさえ交通量が多く、お年寄りや子どもには道路の横断が危険な状況である。高規格道路として整備される折には道路の下にトンネルなどを作り安全に横断できるように配慮願いたい。

市長回答

河川敷には多くの運動場・マレットゴルフ場などがあり安全が確保されるべきと思うが、高瀬川の堤防のためアンダーで抜くというのは洪水などの問題で簡単にはいかないようである。何か良い方法を考えなければと思っている。

同じような例をあげると、松川村のマレットやパターゴルフ場も同じ。また松川道

の駅に北から入る場合も難しい。県でもアンダーは無理のようで右折車線をつくり、信号はつけられないけれども道の駅に入れるように考えているとのこと。そのような中で安全に渡れる様に考えて行きたいと思う。

現在の予算規模 370 億円は決定ではないので、国からの補助金等が多く確保できればグレードの高い道路となっていくので、建設のために働きかけて行きたいと思う。

また河川敷の整備については県が管理しており、護岸整備が進んでいる中で、有効な利用が可能になってくるのではないだろうか。

出席者

市の産業のなかで農業が占める割合はどのくらいか。市の行政には農業に関する将来構図が見えてこない。下一も昨年から集落営農を始めて、大町市の中でも積極的な地域である。農業基盤を強化すれば生活基盤が高まり、豊かなまちに繋がると考える。

市議会でも最近まったく取り上げないし、質問が少ないと思う。

市長回答

産業については総合計画の 8 ページのなかで説明しており、大町市の特徴は各産業がバランス良く組み合わせられている。常盤地区などでも兼業農家が多く、水田農業は土日に行うことによって組み合わせ易く、市の産業の中でも大きな一本の柱となっている。

営農支援センターは農協と市が協力して運営している。市内では既に 7 地区で集落営農が行われおり、農業は地域の水田や主食である米を守り、さらに洪水からも守り、地球温暖化の防止にも役立つものである。

総合計画では 10 ページに農地の集約化と特色ある農業への転換について説明している。先日も長野県の松本平や伊那のカーネーションの話がテレビで紹介されていたが、大町市でも、米を中核としながらも、そば・花など価値の高い農業を組み合わせることに取り組んでいる。

市議会での質問の少なさのご指摘については、9 月議会では農業に熱心な取り組みをされている竹村議員からの 20 項目ほどの、中身の濃い質問がされた。もっと多くの議員さんにも農業問題に関心をもっていただき、私どもを叱咤激励していただきたいと思う。これからも手を緩めることなく、農業は地域の産業の支えとして取り組んで行きたい。

出席者

集団転作を行った頃は、ハウスや種まき機など 80 パーセント近い補助金があったが、最近は全く無いが融資でも良いので行っていただきたいことは可能か。

市長回答

ここ 10 年くらいで国の農業に対する政策転換が図られた。補助金を全廃に近く廃止してしまい、農業だけが他の産業よりなぜ補助が多いのかと言う批判もあり、補助

金の見直しや国の財政再建でほとんどが廃止されてしまった。

県の補助金も見直しのため廃止になり、現在市で行っている補助金はわずかしが残っていないが、活用できる補助制度があれば活用していただきたい。

これからは産業として自立するためには補助金をいただくというより、生産性を高め、その収益の中から融資の仕組みづくりが大切であると考えます。農協が融資制度のアドバイスを担っているが、市も協力しながら応援をさせてもらいたいと思っている。

出席者

竹村議員の議事録はいつ見ることができるのか。

市長回答

1 2 月議会が始まると議事録がご覧いただけるので、市役所でご覧いただきたい。

出席者

松系道路に関連して、その他の道路について補足の説明をお願いしたい。

市長回答

県道有明大町線の国営公園前を通る道路については、常盤地区の代表者の方と、危険箇所・道路事情について県に陳情を行っている。

道路整備について、一般県道は優先順位が低い為なかなか希望が通らないが、曾山観音橋線は観音橋から市役所までの東側が今年一気に改良になる。

先月の上一懇談会で常盤地区は南北には広い道路があるが、東西の道がないと指摘をいただいた。市の道路予算も2億円で、若干の歩道の改良や補修をしているといった状況。首都圏との地域格差をなくす道路財源の確保を、国にも働きかけていきたいと思う。

出席者

総合計画のダイジェスト版もカラー印刷でお金が掛かっているのではないかと。市の財政も厳しいのであれば白黒として経費策削減を図るべきでは。

市長回答

他市と比べて豪華なものではない。印刷にしても競争入札をして一番安価な印刷業者と契約しており、紙質も落としてきている。

例えば月2回の広報については白黒でコストは抑えている。逆に薄くしてコンパクトにすると内容が解りづらくなる面もあると思う。

出席者

学校の不登校について、仁科台中でも20数人いると聞いている。中間教室の先生が子どもの気持ちを感じ取れない。子どもの気持ちを感じられる先生の配置をお願い

したい。

市長回答

子育ての中で不登校の子どもへのケアについては、相談員を配置して取り組んでいる。ご指摘のとおり子どもの気持ちのわかる人材を配置しなければならないと思っている。教育委員会では市長部局とは別に具体的な人選をしている。

今日のお話は教育委員会へきちんとお伝えしたい。また、遠慮することなく教育委員会に直接ご連絡していただき、具体的なご指摘をしていただきたい。

出席者

Ｉターン者に古い家の貸し出しをしていると聞いたが、どんな状況か。

市長回答

Ｉターンについては、数年前から取り組んでいる。合併した美麻地区・八坂地区にはたくさん空家があるが、大町市内にも空家がある。昨年に自治会長さんと市職員が空家の調査をして、２０数戸が貸し出し、または売買可能との調査結果が出た。貸し出し方について、現在市が仲介をするのか、不動産業者を通すかを検討中で、仕組みづくりに時間がかかっている。

美麻地区では、市民農園のコテージタイプ約８０戸があり、現在利用されている方が永住しようかと家を探したり、八坂地区では、３３年前から山村留学が行われ、卒業した子どもさんが、ケーキ屋さんなどを開店して戻って来ているようなことがあるので、永住できるような環境作りに取り組んでいきたい。

出席者

白馬では１１月１１日からデマンドタクシーが始まるというが大町市の取り組み状況はどうか。

市長回答

ふれあいバスの乗車人数も数人と言う路線もあり、今年から試験的に上原地区でデマンドバスの運行を始めた。必要な時に電話をもらって迎えに行く方式。上原地区ではタクシーの大きさを運行していて、空のバスが運行するようなことが無くなったが、まだ導入から半年で、まだまだ反省点もあるかと思う。

たまたま乗り合わせた二人が知り合いで話が弾み、後から乗り合わせた人が疎外感を感じ、バスの方が良いと言った意見もあったようである。

皆さんの支持があれば他の路線についても検討したいと思う。また、利用者の利便性を考えていきたい。

出席者

今年は交通事故が多発し非常事態宣言も出された。池田町・松川村から大町市

に入ると暗く感じる。エッジポインタを設置できないか。下一の交差点にも取り付けた経過がある。市で支給していただけるなら協力したい。

北海道などではランブルストリップというセンターラインにヘコミをつけて、はみ出しの注意を促す方法もとられているがどうか。

市長回答

一昨年は死亡事故が多発して非常事態宣言をだしたが、その後、死亡事故が無く、500日を向かえようとした今年の6月から死亡事故が5件起きた。運転者の気が緩む時期に重なってしまったと思う。一過性の取り組みや行政の力だけではなかなか減らすことができない。

大町は観光客が多いことと、通過客が多いこと、道路の明るさなど問題もあるかと思う。私も堤防道路などは、松川までは明るいと思うが、宮本橋から北はずいぶん暗いと感じている。県道については、県にも申し入れをしたいと思う。横断歩道があるのに照明がないなど、暗いような場所は是非具体的に知らせて欲しい。

センターラインについては専門家に話を聞きながら、センターポールに代わるものとして県にも提案をしていきたい。

中綱の事故があった場所については、警察との意見交換の中で追い越し車線をもう少し伸ばしてはとの話もあったが、中綱の地元の方にしてみればあまり規制をかけると生活しづらいとのご意見もあったことから、大町建設事務所でも現在思案している。

エッジポインタが必要な箇所については主に県道ですので建設事務所に申し入れをしていきたい。

出席者

情報センターのパソコンは最新式だが、その他の公民館のパソコンは型もソフトも旧型で今のパソコンの教科書に合わないので更新してほしい。

他の市町村にも状況を聞いたが、大町市の情報化は大変進んでいることが分かった。良いことなので更に進めてほしい。

市長回答

大町市の情報化は近隣町村の中でも取り組みは進んでいる。公民館ごとに行っているパソコン教室はやがて情報センターへ一本化していくべきではという意見が出ていたので、現在、教育委員会と企画財政課で協議中である。

また、情報化が進んで自宅でも学習できる環境や、職業訓練校のような技術が高い教室もある。協議の中でこれからも公民館で教室を続けていくことになった場合はリースなどで対応を考えようと思っている。

出席者

桜は人を呼ぶ力があると思う。10年後には主要道から桜が見える景色がつくられたらと思う。観光名所として桜を植える取り組みをしたらどうか。

市長回答

大町の桜は素晴らしいと思う。現在は市内の公共施設の桜がてんぐ巣病などでだいぶ傷んでいる。昨年から専門家の指導のもと取り組みをしているが、平成22年まで4年程かかるようで、各家庭の桜のてんぐ巣病についても市で指導を始めている。

大町でもいくつかの取り組みをしている。一つは議員立法でおたんじょ桜と言う取り組みで、小学生がオオヤマザクラを植樹している。市民の森での桜の植樹や鷹狩山の藪払いなども行っている。

桜に限らず、市の花かたくりなども黒沢高原では積極的に整備を始めていただいている。

出席者

白馬村に新たに計画されたごみ焼却場はどのくらいまで進んでいるのか。

市長回答

ごみ処理については、現在は白馬村・小谷村で1箇所、大町市で1箇所の焼却炉で稼働しているが、白馬村・小谷村・大町市の3市村で広域連合の枠組みの中で、一ヶ所の焼却炉で稼働しようと言うことで、白馬村の飯森地区が候補地としてあがっている。現在、地元説明・反対者との意見交換等を行っているが、まだ最終合意に至っていない。時間をかけて話し合っていく予定であるが、青島の耐用年数もあるので、白馬村の皆さんとよく相談して進めて行きたいと思っている。

現在は、可燃ごみは各地区で集積場に出し、また大量に出る場合は青島に直接運び込んでいる。リサイクル資源については、月一回各地区で役員の皆さんの協力によって回収する仕組みがきちんとできている。また、その時に出せない方については、市役所に毎週日曜日持ち込んでいただいても回収可能である。

ごみ焼却場が遠くになると不便になり、市民の皆さんにとっても白馬までは遠いと感じることだと思う。冬場などは道路事情も悪く、現在資源ごみについては市内でまとめて処理が出来るような仕組みも考えており、市民の皆さんにご不便をお掛けしないよう検討していく。

出席者

資源物を月1回の回収で出しそびれた時には青島に直接持ち込んでいるが、閉鎖となれば不便。資源物だけでも大町にも集積場を残して欲しい。

市長回答

焼却施設については、新しい施設が稼働をはじめれば地区住民との約束で閉鎖することになっている。リサイクルセンターについては、地域の皆さんと話し合っているが、一つのアイデアとして引き続き活用出来るような検討をしていきたいと思う。

出席者

市の職員が簡単な業務の引継ぎがなされていないことで、窓口等でも時間がかかることがある。職員も暇そうにしていたり、昼休みにゲームをしている光景も見たことがある。

市長回答

休憩時間については拘束時間ではなく、職員も自由に過ごしている。市民の皆さんに良い印象をもたれないようなことは差し控えるべきで、皆と良く相談しながら改善をしていきたい。

暇な人とのご指摘だが、昨年と今年に定年退職で十数人の退職者があり、新規採用はその半分の数になっている。私も庁内を良く歩くが暇そうにしている人はいない。目に余る様なら具体的なご指摘をお願いしたい。

市役所を良くしようとがんばる職員が増え、全体が良くなって行くようにしていきたいと思う。

業務の引継ぎが悪いとのご指摘については、4～5年程度で人事異動を行い、色々な経験を積んで貰うようになっている。だからと言って、業務の伝達がなされていないということでは支障があるので、必ず引継書という文書を作り、口頭でも引継ぎを行うようにしている。内容やレベルによっては引継ぎがなされていないような項目もあるが、市民の皆様にご迷惑がかかる様なことではいけないので、機会があるごとに話していきたいと思う。

また、現在の職場内でも意思疎通が充分でなく、職員が席を外している為に解らないということなども、来庁された市民の皆様にご迷惑をおかけするので、注意をして行きたいと思う。

出席者

大町は安曇野市の水質よりはるかに良い。水はガソリンに比べ高く販売されている。大町の水は素晴らしいのでこれを販売してはいかがか。また水の有効利用方などの施策はどうか。

市長回答

大町の水は大変おいしいと思う。大町には7つの水源があり、主な4つの湧水（地下から湧き出る水）を消毒し、そのまま水道水に使用している。

大町市では水を有効利用し、生活水・農業用水・防火用水・昭和電工の発電等に使用している。ご指摘の水の販売については、アルピナウォーターという東京のガスを販売している会社が大町の水道水と同じ水源の水のうち、大町市で使っていない水を大きな容器に詰めて販売している。もちろん大町市の水源のため有料で売っている。19年度は年の途中からの売り上げで、水道会計に400万円の収入になった。本年は一年間の利用になるので1000万円前後の収入になるかと思う。

さらに、議会でも議決され、来年度は一日400トンから720トンへ増やす契約

になる。そのために市民の皆さんの水が減ってはいけいないので慎重にすすめていきたい。また、現在上下水道料金の見直しが検討されているが、この収入によって市民の皆さんの上下水道代に還元することが出来ると考えているので、これからも水を活かして行きたいと思う。

出席者

大町総合病院の産科について、産科がなくなる、あるいは病院自体がなくなるといった危機感はあるのか。

市長回答

大町病院においても産科に対する危機感が無いとはいえない。東京の大病院の妊婦の受け入れ拒否の問題などもあるが、大町病院では、現在産科では2名の先生で頑張ってもらっている。当面は大丈夫とは思いますが常に2名の先生の確保が出来ていけるように努力していきたい。

信州大学からの医師の派遣も内科・小児科・産科に各2名の先生がいるが、中長期的に考えると、今からしっかりとしていかなければと思う。

内科については6名から3名体制になってしまい、市民の皆さんには入院制限や外来制限でご迷惑をお掛けしている。今年の7月からもう一人お願いをして、現在4名体制になったが、開業希望の医師もあり、これからも医師の確保に努力して行きたい。医師の研修制度などの問題もあり、大町病院の管理者、院長、事務長等と連携して医師確保にまい進してまいりたい。

出席者

総合計画の実施状況がどうなっているのか、聞くことのできる機会はあるのか。

市長回答

行政は計画倒れしてしまう傾向があるのも事実だが、いかに実行に移すかだと思う。計画倒れにならないように毎年、計画の実施状況を行政内部と外部調査委員によるチェックと評価を行っている。

今回も来年度からの計画について各部局と意見交換を行い21・22・23年度の計画を策定した。

計画だけではなく、実践実行し成果が出ることが大切だと思っており、チェック体制もきちんと出来るように努力してまいりたい。

5．閉会あいさつ

西山区長

6．市長よりお礼の言葉

【懇談終了 21時00分】